

## 継続について

林田 明

「継続は力なり」の語句が 前回でとりあげられた。継続は 特別な研究や趣味などでなくとも 私（達）は日常生活で 何らかのことはつづけている。たとえば歩くこと（散歩、日用品の買い物など）だって 特に健康を意識しないが「(人生 100 年時代を生きること)で ——やろうときめて つづけていけば力がつく——」、私も体調に応じて 歩くをことで 力がつき つづけたいと思っている。

しかし 心身の衰えには 何らかの対応を心がけていても 無理は効かなくなってきた。私は 「もう」は「まだ」ではなく 「もう」は「もう」を 日常 実感しており 継続してきた心身も やがては終わる。

一方 私たちを取り巻く自然環境は 変わりながらも つづいており また 日常親しんでいる直線先の先や 空間の拡がりも 地球環境を はなれてもつづいていくのではと思う。

魂については 「死後の魂」で 身体は没しても 魂は存在することを教えられました「——肉体が 3 次元の存在なのに 5 次元の世界です。 重力次元と時間次元を自由に動きます——」。 私も 死後は 何もかもが無くなってしまおうとは 考えていない。

また DNA の研究成果や 卑近な例では孫たちの動作やクセなどを 知ったりすると 魂も 身体を離れてから どこかに存在すると信じている。

「— 継続は力なり。そして終る。しかし継続は次の次元にもつづいていく。—」

改めて継続に関心を持ち 過去 現在 未来をつづけて考え これからも 心身の衰え  
には 何らかの対応をしながら 日常生活をおくりたい。